

前号 目次

二人の李観

河内 昭 圓

『白氏文集』と平安初期の日本文学について

孔 繁 志

——その文学的觀念の受容様式を中心に——

荆南における詩僧齊己

福 井 敏

魏晉の音楽と楽律

長谷川 慎

キノコに関する説話について

張 忠 鋒

——『今昔物語集』(卷二十八)を中心として——

クマーラジーヴァ講述『注維摩詰經』解説研究

加 治 洋 一

——「仏国品」——(下)

「知進守退」碑について

村 松 法 文

元雜劇に見る明代の〈没〉と〈無〉について

渡 部 洋

『藝文志』派文学と『満洲文壇』

李 青